

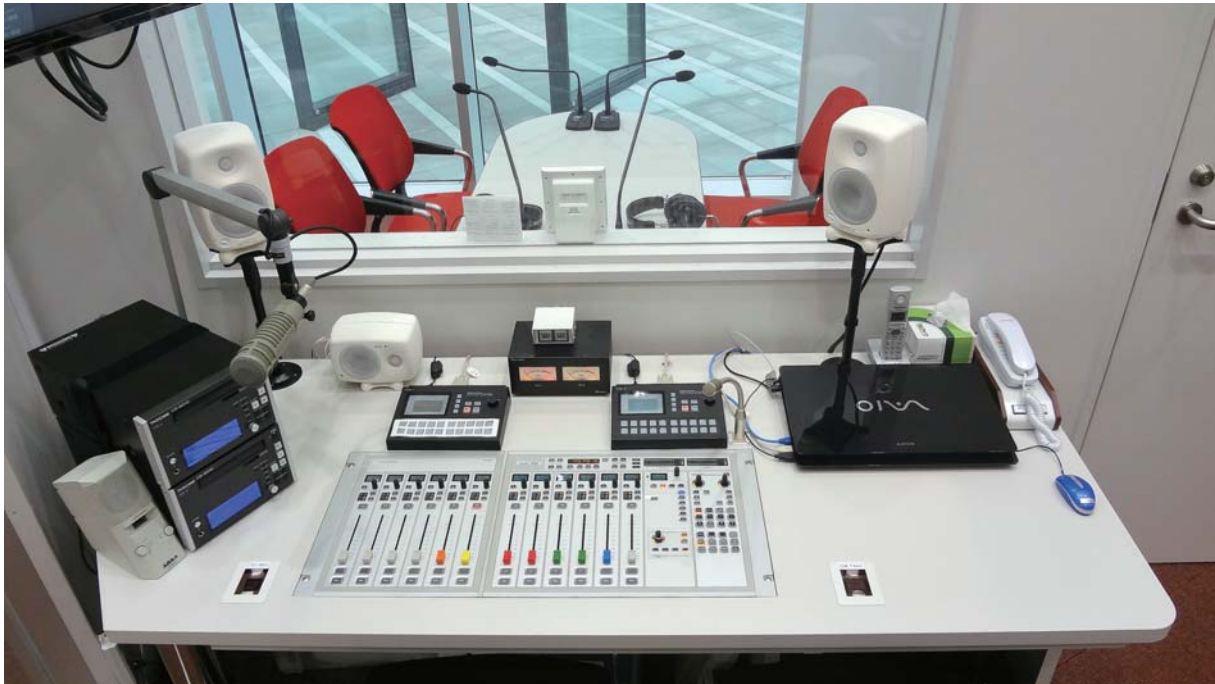
■ OnAir 1500 ニュース

秋田市にぎわい交流館 AU 様

OnAir 1500 - 12



音響工房スタジオに OnAir 1500 を納入



2012年7月、秋田市中心部に誕生した再開発地区「エリアなかいち」。その地区内に文化交流施設「秋田市にぎわい交流館 AU (あう)」が設立されました。「世代を超えた市民や観光客が集える、芸術と文化の交流拠点」を主題に掲げ、館内には芸術・文化・テクノロジーを通じてコミュニティー力の促進を目的とした施設が多種多様に設けられています。

その施設の1つである「音響工房」スタジオに、STUDER OnAirシリーズの最新製品であるOnAir 1500-12Faderが採用されました。

「音響工房」スタジオは、秋田市民に録音スタジオとして貸し出されているだけでなく、秋田放送様及びエフエム秋田様が生放送サテライトスタジオとしても利用されており、平日の毎日、フレンドリーで秋田の水のように透き通った音で放送されています。

「音響工房」完成までの道のり

OnAir 1500の仕様や設定は、秋田放送様が主体となられて具体化されていきました。

秋田放送様本局での運用状況や、実際に音声卓を操作する制作陣の意見を可能な限り収集、「音響工房」スタジオのシンプルな仕様と現状運用との共通点及び相違点を認識しつつ、新しい操作の習得の効率性を考慮され、いか

にわかりやすいシステムにするかを試行錯誤されました。その結果、「音響工房」スタジオは放送局の運用でも十分通用する実用的なスタジオとなっただけでなく、音の文化、放送の設備をより多くの人に気軽に触れて頂くことができるスタジオが完成しました。

OnAir 1500 を使って

「音響工房」スタジオをサテライト・スタジオとして利用されている秋田放送様とエフエム秋田様から、現場の意見として、OnAir 1500は以下のように非常に良い評価を頂いています。

- ・フェーダーモジュールがコンパクトで、デスク上がすっきりする
- ・モジュールやサーフェイスの質感が良い
- ・OnAir 1500 サーフェイス上の Snap Shot ボタンを押せば、各種設定/調整がほとんど必要なく、心に余裕を持って生放送に臨める
- ・ワンマン運用時でも、メディア入れ替え操作以外はフェーダーの上げ下げだけでいいので、放送そのものに集中できる
- ・OnAir 1500の音声入出力は全てXLRコネクタなので、臨時的な録再機の入替作業が簡単
- ・OnAir 1500でデジタル卓を初めて操作したが、アナログ卓とほとんど違和感がない。

サテライトスタジオの醍醐味

「音響工房」スタジオのブースには通常4本のマイクが常時設置されていて、最大5本のマイクが設置可能です。清潔感のある白色の壁、その壁に映える赤色の椅子とデザインにも気を配られています。サテライトスタジオの醍醐味は「エリアなかいち」に訪れている皆様との触れ合いにあります。ブースはガラスを隔てて「エリアなかいち」の共用通路に面しているので、訪れているお客様が秋田放送様とエフエム秋田様の生放送を外から観覧できます。時にはブースのガラス面いっぱいにお客様が集ることもあり、まさに名称のとおり「にぎわい交流」のシンボリック存在になっています。

